

9条連・近畿事務局共同代表
佐々木昭示、菅野武男、舟山守夫殿

9条連・近畿事務局への回答を求める再申し入れ

ご苦勞様です。日頃の地道な活動に敬意を表します。

11月10日付の申し入れについて、11月20日までに書面にて回答を頂くよう申し入れましたが、本日まで何ら返答がありません。したがって、再度、12月10日までに回答されることを再申し入れします。

また、以下の申し入れもしますので、あわせて回答を頂きますようお願いいたします。

1. 申し入れへの回答を待っていた11月18日、22時前、佐々木共同代表は康乗さんの自宅へ電話し、「なぜ、関西地本に報告したのか、康乗個人に話したのに残念だ」「今日、康乗に電話したのはあくまでも個人としてであり、関西地本には報告しないで欲しい。」と言われました。康乗さんは、11月16日の事務局会議での佐々木共同代表の発言について、持ち帰り回答するとし、地本は申し入れに至ったのです。もしかすると、佐々木共同代表は、「あの時の発言はなかったことにしたい」という考えなのではないでしょうか。労働組合の役員は、嘘を言ったりするのではなく責任をもって発言することが基本であると考えます。佐々木共同代表の深夜の電話は、都合が悪くなり、誰かから言われての“打ち消しの為”の電話だったと思えてなりません。是非、佐々木共同代表の「深夜の電話」の真意をお聞かせください。

2. 11月13日、高田事務局長より、「共同代表・事務局メンバーの皆さんへ」とした笹田、康乗さんにメールがありました。内容は、「今日は会議成立しませんでした。参加者が少なくて総会にむけた議論ができていません。一応皆さんの都合を改めて聞いて日程調整をする事になりました。15時からにしている為参加出来ない方もおられます。日と会議時間を調整しますので、来週以降12月5日まで参加可能な日時を高田事務局長宛のメールに送って下さい。また総会の案内については後日皆さんへ提示します。開催日時が迫っており賛同頂き次第、会員に郵送します。よろしく申し上げます。事務局長 高田博光」というものでした。

これに対し、康乗さんは11月17日、東海労新幹線関西地本が11月10日に申し入れた9条連・近畿への「申し入れ」への回答がまだ来ていないため、「お疲れ様です。次回、事務局会議の日程調整の件ですが、東海労新

幹線関西地本と相談した結果、申し入れに対する回答が出された事を受けて対応する事としましたので、私と笹田さんは報告できません。宜しくお願いします。」と、高田事務局長に返答しました。

すると、11月18日、高田事務局長から康乗さんへ「昨日（11/17）、佐々木、舟山共同代表、澤田、高田の4人で打ち合わせ、12月7日の総会、学習会の延期を決定した。理由は事務局会議の調整がつかない為、総会の資料、案内状の郵送が間に合わないため。」との電話連絡がありました。

事務局会議を開催せず、事務局メンバー全員への打診も相談もせず、突然、「4名で打ち合わせ、12月7日の総会、学習会の延期を決定した。」結果を知らせてこられました。勝手に4名で決定できることでしょうか。組織運営として納得できません。責任ある説明を求めます。

その後、会員へ届いた「2024年総会・学習会の開催延期のお知らせ」には、開催延期の理由が、「JR関係の*賛助団体問題で総会の議論が出来ませんでした。」と記載されています。この「賛助団体問題」とは、東海労新幹線関西地本が回答を求めている「申し入れ」のことだと思います。この「賛助団体問題」は、東海労新幹線関西地本の「申し入れ」に回答していただかないと議論も、解決もできないと思います。

したがって、くり返しになりますが、東海労新幹線関西地本からの「申し入れ」への誠意ある回答を、12月10日までをお願いします。

以上

2024年11月28日

JR東海労働組合新幹線関西地本執行委員会

